

粕谷和夫の観察日より。沖縄県の金武の田んぼで一番出会ったツバメチドリの子を捉えることが出来ました。長い角張った翼で旋回し、飛翔中はツバメを大きくしたような形のように見えるチドリの仲間です。のどの周りを目先が黒く、独特な顔の表情が何とも言えません。

紅葉台



新聞

第129号
2024年
5月11日
発行人：関谷 孝

KO52 TAKAO 4月11日オープン!



場所は、紅葉台新聞で紹介したモスバーガーのあるビル（5階）。リノベーション施設です。

ここは、どうぞ「ご自由に」と入居者やお客様がつながり、受け入れることのできる個商いの集合体個×個で個商いになる高尾の暮らしの新しいシンボル「**個商いと地域が出会うビル**」というコンセプトで誕生しました。

施設名称**KO52**とは、京王高尾線高尾駅の駅番号を由来とし、さらに個商いの「個(KO)」を示します。また、「入居者やお客さまが自由につながる場所」という、どうぞ「52=ご自由に(52=ごじゆうに)」、「いつでも気軽に施設に行こう」という「GO TO(52)」。地域に開かれ、人が訪れ、出会いが生まれる「高尾の暮らしのシンボル」となる施設を目指し、「KO52 TAKAO」と名付けたそうです。並々ならぬ思いを感じます。



2階が、本部で、このプロジェクトの仕掛け人 池田周平さんが管理人です。高尾ビールやコーヒESHOP等個性あふれる14店舗が出店。外観がとてもおしゃれです。



高尾にも新しい感覚の集いの場が出来ました。池田さんは、2017年高尾ビール設立。デザイン・広告企業での勤務を経て、アメリカポートランド州立大学とカリ

フォルニア州バークレーの醸造所にてビールづくりを学びました。山好きが高じて都心から東京の西の町“高尾”に拠点を移し、地域の自然も楽しみながら更にその先へ、そして都心へとまさに高尾をベースに動き続け毎日を楽しむ高尾暮らしの窓口。本プロジェクトではみんなで集まれる場を駅前にと計画段階から参画しています。



早速、「高尾フモト同盟」の創立者3人（佐藤さん・石川さん・渡辺さん）と見学に行きました。2階に上がる階段を上ると大きく開け放した入り口から店の中が開放的に見えます。正面には『高尾ビール』を醸造している大きなタンクが見えます。右手にはおしゃれなコーヒESHOP。ベランダには高椅子もありここから高尾駅のロータリーが見渡せます。この日は桜が満開でとても眺めが良かったです。3階から5



階までは登山関係のショップやヘアカット、マッサージ、貸事務所などがあります。エレベータもあるので気軽に行くことが出来ます。会計は、キャッシュレスなので、電子マネーカードで支払います。オープン日は、飲み物が1杯プレゼントでした。これからの高尾の新しい居場所として地域の皆さんに愛される場所になるといいです。是非お出かけになってはいかがでしょうか。



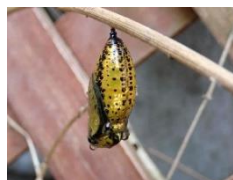
（写真は、高尾フモト同盟の皆さん。紅葉台新聞は、高尾フモト同盟のHPにて掲載しています、そちらも是非ご覧になってみてください）

【読者の栗田さん（酒に詳しい）のビール評より】

中に入って振り返ると間口いっぱい満開の桜で、雰囲気よし。お目当てのビール、添付写真のメニューから、まず1杯目は「KO52」を選んで外を見ながら。これはとてもすっきりした飲み口なので、大ジョッキで欲しい感じです。2杯目は「森の気持ち」にしましたが、これはピザと合わせたい感じ。混んでいたのでも2杯で退散、紅葉台まで歩いて帰りましたが、少し酔いが回り、明るいうちに飲むのも悪くないですね。

粕谷和夫の観察日

続 沖縄編



沖縄県の蝶**オオゴマダラ**の蛹です。蛹は黄金色で美しく、世界一美しい蛹と言われています。今回沖縄のヤンバルでお世話になった知人のお宅の庭がバタフライガーデンになっていて、多種多数のチョウが舞っていました。その庭の一角にこの蛹がありました。成虫は日本の蝶としては最大種の一つで、白地に黒いまだら模様でゆっくり優雅に飛ぶのが特徴です。なお、東京日野の多摩動物公園昆虫館に行けばこの蝶が舞っています。



沖縄県の**ゲットウ**の花と蕾です。ヤンバルの民家の庭先でよく見かけました。畑にも栽培されていたのでこの植物のどの部分が売れるのか聞いてみました。月桃には、防菌、防カビ等の役立つ成分が含まれているので、沖縄では昔から月桃の葉を餅（方言名：ムーチー）の包装材に使用したことから「葉」を収穫して出荷しているとのことでした。また、種子を漢方等に用いてきたとのことでした。



田植え直後の金武の田んぼに降りた**アオアシシギ**です。類似のシギ類と比べて細身でスマートな体形をしています。嘴が細めで、白い腹の部分が目立ちます。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。